

わたしたち職員は

利用者一人ひとりの
普通の生活(権利)を
守ります

- 夜間等の防犯目的以外に“鍵”をかけず、自由に出入りできるようにし、見守ります
- 一人ひとりの心身の状態や希望に沿った支援を行います
- 認知症があっても子ども扱いはせず、一人ひとりを尊重した対応をします
- 自分で決めることができるように、お手伝いします
- 金銭の取り扱いを明らかにします

人が

.

見ている時も
見ていない時も

.

いつも
変わらない
対応

認知症GHにおける権利擁護の指針

コンプライアンスルール

権利擁護虐待防止

認知症グループホームサービスの

の例

普通の生活支援

丁寧な話し方・聞き方

丁寧な対応

- 一人の人として尊重し、敬います
- 一人ひとりに合った楽しみを持って生活できるようにします
- お風呂やトイレ等、普通の生活が安心してできるようにします
- 外出したり、会いたい人に会えるように調整する等、想いや希望を尊重します
- 地域の住民としての活動に参加できるようにします

- 誰に対しても、普通に「さん」と呼びます
- 小さな子どもに使うような言葉を使わず、普通の丁寧な言葉を使います
- 専門用語は使わず、その人に分かりやすい平易な言葉を使います
- 足を止めて、顔を見て話しを聞きます
- 想い、心配、嬉しい...等を受け止めて共感します

- 常に所在と安全に気を配ります
- 常に様子と体調に変わりがないか気かけます
- 一人ひとりに対して挨拶します
- 必ず、説明し、了解を得ます
- 行動や決めることを押し付けず、提案し、決めたことを尊重します
- より良いサービスができるように常に勉強します。

認知症で判断が難しい、介護してあげている、誰も見ていない...、いつの間にか権利侵害になっていませんか？ **例えば・・・**

～身体虐待～

排泄や食事で失敗した時に、子どもをしつけるようにたたく。
部屋や玄関等にカギをかけて閉じ込める。
立ち上がろうとするのを肩を抑えて座らせる。
介護服を着用させる。

～言葉・心理的虐待～

「何やってるの!」、「くさい!」、「きたない!」と怒る。

その日の気分に対応を変える。
目でにらんだり、大声を出したりして威嚇する、怯えさせる。
返事もせず、無視する。

～性的虐待～

下着姿のままベッドに寝かしておく。
排泄等のことを回りに聞こえるように話す「さんおしっこ漏らしてるよ～」
ワイセツな言葉を使って侮辱する。
性的な行為を強要する。

～介護放棄(ネグレクト)～

オムツ、下着を濡れたまま放置する。
具合が悪いのに病院に連れて行かない。
十分な食事を出さない。食欲がない、食べられない状態を放置する。
安全に過ごしているか把握していない。
掃除をしない、汚れを放置する。

～経済的虐待～

買い物に頼まれ、お釣りを渡さない。
通帳を預かり、勝手に使う。
財産を勝手に処分する...など。

わたしたち職員は 利用者本人に対しても 家族に対しても いつも同じく 丁寧な対応 丁寧な話し方をし 良く聞きます